

第18回市民賞

吉永広海さんを 11月15日、市役所で表彰

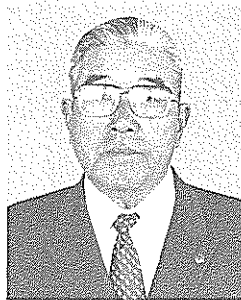
市政発展に功労のあつた個人や団体に贈られる「市民賞」に、今年は何人一人が選ばれました。

市民賞を決める選考委員会（吉村雅男会長・委員十人）は十月十五日に開かれ、市民から推薦のあつた吉永広海さんを表彰することを決めました。表彰式は十一月十五日に市役所で行われ、小笠原市長から表彰状と記念品が贈られます。

《社会福祉》

吉永広海さん

（田村・75歳）



昭和四十八年から現在に至る十四年間に、十指に余る公職を持ち、地域社会の福祉向上に献身的な活躍を続けられてきた。

日章地区老人クラブ会長として、地区に十二あるクラブの連合組織づくりに努力された。クラブ活動は、清掃作業、独居老人に対する愛の一声運動、衛生講話、交通指導並びに各種レクリエーションなどで、氏は会長として指導力を発

揮し、クラブ活動の先頭に立ち発展の推進役として活躍中である。

民生児童委員及び同協議会理事として、青少年不良化防止のため学校、その他関係団体と協力して精力的に取り組むなど、青少年の健全育成のため幅広く活動されている。また、保護家庭、保護児童の援助、救済のため親切にめんどうをみておられる。

日章地区社会福祉協議会長として、助け合い運動のトップである共同募金には全面的に協力し、職務遂行に努力されてきた。また、市社会福祉協議会評議員として会の円満な運営に当たられ、今日の発展に大きく奇与された。

日章地区ゲートボール会長及び市ゲートボール常任理事として、早くから地区のクラブ結成やコート作りに尽力され、今日の発展に多大の功績を残された。

以上、社会福祉の向上発展に尽力された足跡は大きいものがある。

南国（ライオン）が無料検診

無医地区の奈路、黒滝で

地域に密着した奉仕活動をと、南国ライオンズクラブ（溝渕健夫会長）が十月二十六日、無医地区の奈路、黒滝地区での無料検診を行いました。これは昨年を引き続き行われたもので今年で四回目。当日は、クラブ員の内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、歯科のそれぞれ専門医七人が参加しました。

午前中は奈路小で、午後からは黒滝青少年自然の家（旧黒滝小）を会場に、教室をそれぞれの専門科に分け検診。検診後には保健婦さんからの健康指導も行われ、また、黒滝地区では検診の後、川本徳雄先生による「成人病について」の講演も行われました。

両会場とも地区の人たちが健康手帳を手に続々と訪れ、各先生からきめ細かな診察を受けました。

この日、両地区で検診を受けた方は四十五人。受診者の一人は、日曜日に来てくれてありがたい。せっかくお医者さんが来てくれるので、もっと多くの人が受診するように呼びかけなければ」と感謝していました。



それぞれの専門医の先生がきめ細かく診察した